

「平成23年度 病虫害発生予報 第7号」の発表について

向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稻では、穂いもちの発生が多いと予想されます。
葉いもちの発生が多く上位葉に葉いもちの病斑がみられる場合は、穂いもちの発生が懸念されるので、穂ばらみ期及び穂揃い期に薬剤防除を実施してください。
- ・ 大豆及び野菜では、ハスモンヨトウの発生が多いと予想されます。
本害虫の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ 果樹では、なしの黒星病及びぶどうのべと病の発生が多いと予想されます。
これらの病害は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。
- ・ 東日本大震災の影響等により作付けが困難となった地域では、ほ場の管理が行えないことから、雑草の繁茂等により作物を加害する病虫害が発生することが考えられます。そのため、周辺で作付けが行われる地域では、ほ場観察を綿密に行い、状況に応じて防除ができるよう病虫害の発生状況に注意してください。

水稻

- ・ **穂いもち**の発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
葉いもちの発生が多く上位葉に葉いもちの病斑がみられる場合は、穂いもちの発生が懸念されるので、穂ばらみ期及び穂揃い期に薬剤防除を実施してください。
なお、穂いもちの多発生が予想される場合には、穂揃い期 7 ～ 10 日後の追加防除を実施してください。

大豆

- ・ **ハスモンヨトウ**の発生は、関東、近畿及び九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北陸、東海及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
ほ場の観察を行って、本害虫による食害の特徴である白変葉の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **吸実性カメムシ類**の発生は、関東、甲信、東海及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
ほ場の観察を行い本害虫の飛来を認めたら、適期に薬剤防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 1ヶ月予報（8月26日気象庁発表）では、全国的に平均気温が高いと予想されており、害虫の発生に注意が必要です。ほ場観察を行って病害虫の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に薬剤防除を実施してください。

施設栽培

- ・ 気温が高いと栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病害虫の施設への侵入及び野外への飛び出しに注意が必要です。
- ・ ウイルス病を媒介する**アザミウマ類**、**コナジラミ類**等の施設内への侵入及び野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。
また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、確実に処分してください。

発生が多い・やや多いと予想される病害虫及び地域

作物名	病害虫	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
キャベツ	コナガ		北東北
ネギ	アザミウマ類	東北、関東、東海	北陸、近畿、中国、九州
ネギ	シロイチモジヨトウ	南関東	北陸、中国
イチゴ	炭そ病	南東北、関東、九州	東海、近畿
イチゴ	アブラムシ類	北関東、北九州	
キュウリ	褐斑病		北東北、近畿、中国
キュウリ	アブラムシ類	北関東	近畿、中国
トマト	灰色かび病	東海	

ナス	アザミウマ類	北関東	四国
ナス	アブラムシ類	北関東	近畿、四国
ナス	ハダニ類	北関東	近畿
キク	アザミウマ類		関東、東海、九州
キク	ハダニ類	北関東	
野菜共通	オオタバコガ	関東	北陸、南九州
野菜共通	ハスモンヨトウ	関東、北陸、近畿	南九州

果樹・茶

果樹共通

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、中国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫は、園地周辺の山林から飛来してくるので、例年カメムシ類の被害が多い園地や、山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。

また、飛来が認められた場合は、飛来初期からの防除を実施してください。

- ・ 東日本大震災の影響等で園地の管理が行えない地域では、病害虫の発生が多くなることが懸念されます。隣接した地域では、園内の観察をきめ細かく行い、病害虫の侵入及び発生に注意してください。

かんきつ

- ・ **かいよう病**の発生は、近畿、東海、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本病の伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

特に、強風による擦れなどの傷口から容易に感染するため、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。

- ・ **黒点病**の発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本病の伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

- ・ **ミカンハダニ**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、近畿、四国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

園内の観察をきめ細かく行い適期に薬剤防除を実施してください。

りんご

- ・ **斑点落葉病**の発生は、北関東の一部地域で「多い」、北陸の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、気温が高い時期に降雨が続くと発病が助長されます。また、密植や徒長枝により通風や採光が悪いと発病が多くなります。徒長枝の除去等により通風や採光を確保するとともに、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **炭そ病**の発生は、北関東及び甲信の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病果は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨により発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**及び**ハマキムシ類**の発生は、「平年並」と予想されます。**モモシンクイガ**の発生は、北東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

なし

- ・ **黒星病**の発生は、東北、北関東、甲信、東海、近畿及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉、発病果及び発病した新梢は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、散布間隔が開きすぎないように降雨の合間に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北東北、中国及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い、本害虫の発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は、北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。**モモシンクイガ**及び**ハマキムシ類**の発生は、南関東の一部地域で「多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

もも

- ・ **せん孔細菌病**の発生は、北陸の一部地域で「多い」、南東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる病斑を形成した枝は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、収穫終了後も越冬伝染源となる感染を防止するため、適期に薬剤防除を実施してください。

ぶどう

- ・ **べと病**の発生は、北関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、甲信、東海、近畿、中国、四国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病果は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続く気温が低めの時に発生しやすいので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **晩腐病**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
発病葉及び発病果粒は伝染源となるので収穫後も園地に残さず、適切に処分してください。また、本病は降雨により発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

かき

- ・ **うどんこ病**の発生は、中国及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は葉の気孔から侵入するので、薬剤防除は葉裏に十分薬液がかかるよう実施してください。
- ・ **炭そ病**の発生は、北陸、近畿及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨が続くと発病が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

茶

- ・ **炭そ病**の発生は、南九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、南関東、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
罹病葉は越冬伝染源となるので、多発生が予想される園地では、茶園の管理状況に応じて、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノコカクモンハマキ**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。**チャハマキ**の発生は、「平年並」と予想されます。
これらの害虫の多発生が予想される園地では、地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、成虫発生最盛期の7～10日後に薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノミドリヒメヨコバイ**の発生は、近畿及び九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、南関東及び東海の一部地域で「やや多い」、**チャノキイロアザミウマ**の発生は、南関東、東海、近畿及び九州の一部地域で「やや多い」、**チャノホソガ**の発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」と予想されます。
秋冬番茶の摘採予定の園地では、同一系統の薬剤の連続使用を避けた上で、適期に薬剤防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成23年8月4日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

■ 警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表します。

発表なし。

■ 注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要が認められる場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月5日	長野県	果樹等	アメリカシロヒトリ
8月5日	長野県	水稻	斑点米カメムシ類
8月8日	広島県	水稻	斑点米カメムシ類
8月9日	愛知県	大豆	ハスモンヨトウ
8月10日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類
8月10日	秋田県	水稻	斑点米カメムシ類
8月10日	宮崎県	普通期水稻	いもち病（穂いもち）
8月12日	熊本県	早期水稻	いもち病（穂いもち）
8月18日	福岡県	水稻	いもち病（穂いもち）
8月22日	栃木県	いちご	炭そ病
8月24日	佐賀県	普通期水稻	いもち病（穂いもち）
8月29日	群馬県	作物全般	アブラムシ類
8月29日	宮城県	いちご	炭そ病
8月29日	神奈川県	野菜類、花き類	オオタバコガ
8月31日	岐阜県	トマト	灰色かび病
8月31日	香川県	カキ	炭そ病
9月2日	兵庫県	大豆、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月5日	山口県	大豆、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月5日	北海道	りんご	モモシンクイガ

■ 特殊報

新奇な有害動植物を発見した場合及び重要な有害動植物の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月18日	熊本県	ばれいしょ	ジャガイモシストセンチュウ

8 月 19 日	佐賀県	キク	キク茎えそ病
8 月 25 日	秋田県	トマト	トマトすすかび病
9 月 6 日	岩手県	りんご	ヒメボクトウ
9 月 6 日	岩手県	りんどう	キオビトガリメイガ

用語解説

地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

平成 23 年度病虫害発生予報の発表予定

第 1 号：4 月 21 日（木曜日）

第 2 号：5 月 19 日（木曜日）

第 3 号：6 月 16 日（木曜日）

第 4 号：7 月 7 日（木曜日）

第 5 号：7 月 21 日（木曜日）

第 6 号： 8 月 11 日（木曜日）

第 7 号： 9 月 8 日（木曜日）

第 8 号：10 月 6 日（木曜日）

第 9 号：11 月 10 日（木曜日）

第 10 号： 2 月 16 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 黒谷、後藤

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-5976

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>